

うべ ECO チャレンジ（えーこっちゃ）
[宇部市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）]
令和7年度の実績結果

1 新しい算定方式による温室効果ガスの排出量の結果

	令和6年度	令和7年度	発生源
CO ₂ (二酸化炭素) (エネルギー起源)	21,654	21,252	燃料の燃焼、電気の使用
CO ₂ (二酸化炭素) (非エネルギー起源)	12,412	13,646	廃プラスチック類の焼却
CH ₄ (メタン)	557	498	下水の処理、浄化槽による処理、ごみの焼却、自動車の走行
N ₂ O (一酸化二窒素)	1,646	1,561	ボイラー、ディーゼル機関による燃焼、自動車の走行
HFC (ハイドロフルオロカーボン)	5	4	カーエアコン
合計	36,274	36,960	

(t-CO₂)

結果

1.9% 増加

電気使用量とCO₂排出係数及びCO₂排出量の年度比較

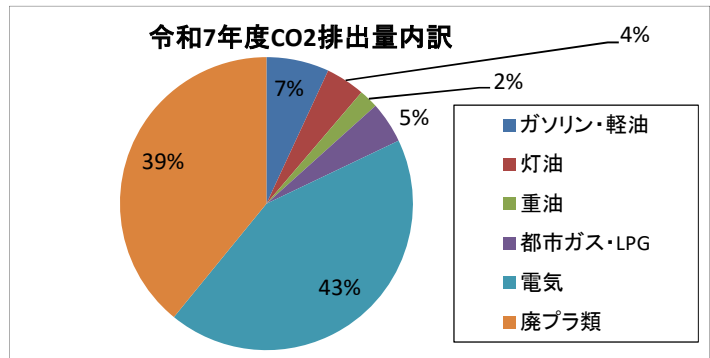
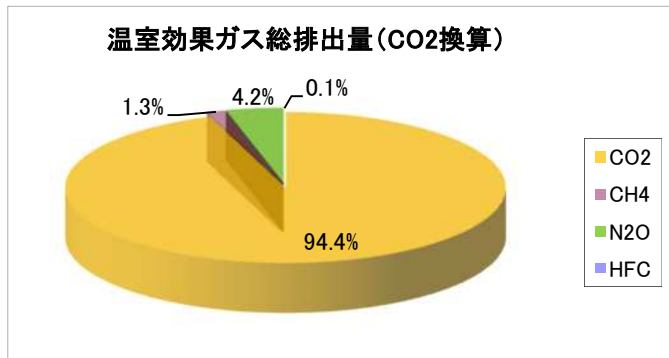
		中国電力(株)	うべ未来エネルギー(株)		(株)ESS	丸紅新電力(株)	計
電気 使用量 (kWh)	令和6年度	17,187,578	10,885,108		457,203	395,281	28,925,170
	令和7年度	16,969,297	11,248,091	515,212	471,542	405,113	29,609,255
算定に使用した CO ₂ 基礎 排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	令和6年度	0.000520	0.000536		0.000606	0.000577	
	令和7年度	0.000484	0.000556	0.000000	0.000550	0.000657	
CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	令和6年度	8,938	5,834		277	228	15,277
	令和7年度	8,213	6,254		259	266	14,993
	令和6年度 -令和7年度	724	-420		18	-38	285

【分析結果】

令和6年度と比較すると、電気や燃料の使用に伴い排出されるエネルギー起源による二酸化炭素の排出量が微減したものの、一般廃棄物の焼却時などに排出される非エネルギー起源による二酸化炭素の排出量が増加したことから、エネルギー温室効果ガス総排出量は1.9%増加した。

エネルギー起源の二酸化炭素排出量が微減した要因としては、電気の使用量が増加した一方で、二酸化炭素排出量ゼロとなる電力を取り入れたことや一部の電気事業者に係る排出係数が低下したことが挙げられる。また、非エネルギー起源による二酸化炭素排出量が増加した要因としては、県内他市の可燃性廃棄物の受入れにより、ごみ焼却場での処理量が増加し、衣服などに使用される化石燃料由来の合成繊維の焼却量が前年度より増加したことが挙げられる。

引き続き、温室効果ガス排出量の削減に全庁挙げて取り組む必要があることから、貴部等内の環境マネージャーに周知するとともに、各課等業務及び所管する施設の状況を十分に検証のうえ、適切なエネルギーの使用に努める必要がある。



本市の事務事業における温室効果ガス排出量の94.4%を占めるCO₂の組成を見ると、一般廃棄物に含まれる廃プラスチックの焼却によるものと他人から供給された電気の使用によるものが大きな割合を占めている。CO₂排出量削減のためには、各公共施設において、省エネに向けた設備更新や運用対策などの取組の実施が必要不可欠である。

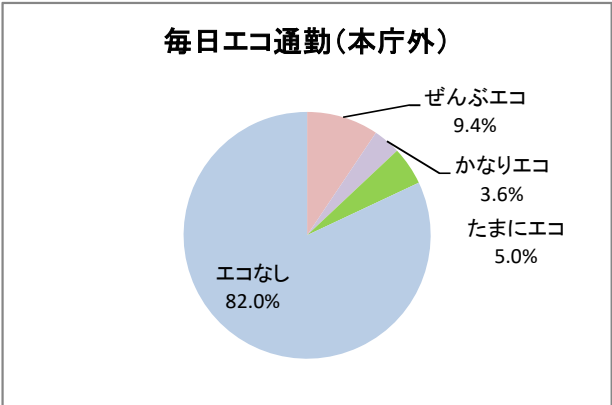
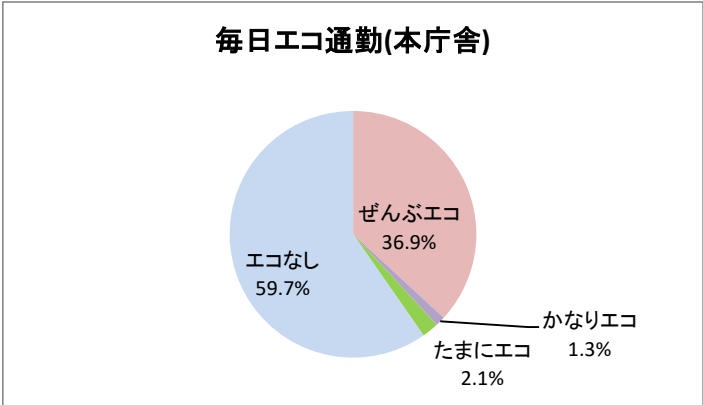
2 温室効果ガス削減のための取組の結果

年間を通じて、グリーン購入率を除く10項目のうち4項目で減少となった。

目標番号	項目	分類	令和6年度	令和7年度	削減率	取組状況
①グリーン購入率(%)	市全体		99.86%	99.98%	-	調達の難しいケースや適合物品がない場合を除き、各課でグリーン購入が実施できている。
②コピー用紙(千枚)	市全体		25,382	24,046	5.3%	制度改正の対応や国勢調査の実施等により一部の課等で使用量が増加した一方で、全体使用量の60.7%を占める小中学校において、ペーパーレス化の取組により2.9%減少したことに加え、全体の59.1%の課等で使用量が減少したことから、全体で5.3%の減少となった。
③燃やせるごみの総排出量(t)	オフィス		3.20	4.10	-28.1%	本庁舎において、ごみ分別の徹底などにより一部の課等で減少したが、55%の課等で排出量が増加し、全体では28.1%の増加となった。増加した主な要因としては、一部の部署で業務システムの変更により不要となった書類を廃棄したことや執務室等の整理が挙げられる。
④ガソリン使用量(kl)	市全体		105.4	100.0	5.1%	施設の使用量は2.1%減少、公用車の使用量は5.3%減少となり、全体で5.1%の減少となった。公用車の使用量が減少した要因としては、低燃費走行の取組に加えて、学校庶務員制度の廃止や現場対応の機会の減少等により使用頻度が減少したことが挙げられる。
⑤軽油使用量(kl)	市全体		841.0	843.4	-0.3%	廃棄物対策課において、車両の台数の減少や収集コースの見直し等により使用量が減少したが、全体の使用量の95.3%を占める交通局において、猛暑によるバスの冷房使用が増加したことなどから全体で0.3%の増加となった。
⑥重油使用量(kl)	市全体		334.2	273.8	18.1%	厚南排水機場において、ポンプの増設により使用量が増加したが、東部浄化センターにおいて、重油を使用しない消化槽を主に稼働させて運転管理したことによりボイラーの稼働時間が減り、使用量が減少したことから、全体で18.1%の減少となった。
⑦灯油使用量(kl)	市全体		645.4	607.2	5.9%	厚南学校給食共同調理場において、機器の劣化により燃焼効率が低下したことなどから使用量が増加したが、楠こもれびの郷において、温浴施設の営業日数が減少したことや、全体使用量の69.8%を占める焼却場において、前年度と比較して安定的な運転が出来た結果助燃剤としての利用が減ったこと等から、全体では5.9%の減少となった。
⑧都市ガス使用量(千㎡)	市全体		399.8	461.4	-15.4%	空調機器の適切な温度管理等により、全体の34.9%の課等で使用量が減少したが、本庁舎において、市民交流棟の供用開始等に伴いガス発電システムの利用に係る使用量が増加したこと等により、全体で15.4%の増加となった。
⑨LPガス使用量(千㎡)	市全体		88.4	89.5	-1.2%	一部の小学校において、給食調理場の使用減少に伴い使用量が減少したが、船木ふれあいセンターや万倉ふれあいセンターにおいて、貸館利用の増加等により空調の使用機会が増加したことから、全体で1.2%の増加となった。
⑩電気使用量(千kWh)	市全体		28,925.2	29,609.3	-2.4%	総合福祉会館の閉館や、中山浄水場でのポンプ稼働が少なかったことなどから使用量が減少したものの、本庁舎における猛暑による冷房の時間外稼働や市民交流棟の供用開始などから全体で2.4%の増加となった。
⑪水道使用量(千㎡)	市全体		365.6	382.3	-4.6%	神原ポンプ場の機器更新等により、使用量が減少したものの、一部の小中学校において、授業や部活動等での使用が増えたことや、市民交流棟の利用開始等により、全体で4.6%の増加となった。

【エコ通勤基準】
通勤距離が5キロ以内、または利便性の高いバス路線のバス停やJR路線の駅から1キロ以内に住居がある。

目標番号	項目	その他①	毎日エコ通勤					
本庁舎	区分	エコ通勤実施率	エコ通勤該当	エコ通勤非該当	計	実施率 令和7年度	実施率 令和6年度	取り組み状況
	ぜんぶエコ	100%	243	15	258	36.9%	37.7%	エコ通勤実施率 100%、50%以上 100%未満の割合が 減少し、0%の割合が 増えている。
	かなりエコ	50%以上100%未満	8	1	9	1.3%	1.4%	
	たまにエコ	50%未満	11	4	15	2.1%	2.1%	
	エコなし	0%	242	176	418	59.7%	58.9%	
	計		504	196	700			
本庁外	区分	エコ通勤実施率	エコ通勤該当	エコ通勤非該当	計	実施率 令和7年度	実施率 令和6年度	取組状況
	ぜんぶエコ	100%	60	11	71	9.4%	11.3%	エコ通勤実施率 100%、50%以上 100%未満の割合が 減少し、50%未満、 0%の割合が増えている。
	かなりエコ	50%以上100%未満	14	13	27	3.6%	3.8%	
	たまにエコ	50%未満	18	20	38	5.0%	3.0%	
	エコなし	0%	288	331	619	82.0%	81.8%	
	計		380	375	755			



目標番号	項目	その他②	エコ通勤デー		取組状況
区分	通勤者数	実行者数	実施率 令和7年度	実施率 令和6年度	
本庁舎	674	258	38.3%	38.8%	本庁舎では、一部の職員において、遠方からの通勤や子どもの送り迎え、公共交通が利用できない等のやむを得ない事情による影響もあり、38.3%と前年度より0.5%減少し、出先職場では、立地条件・勤務形態などにより取り組むことが難しいことなどから、10%と前年度より3.1%減少した。
本庁外	670	67	10.0%	13.1%	
R7計	1,344	325	24.2%	28.9%	